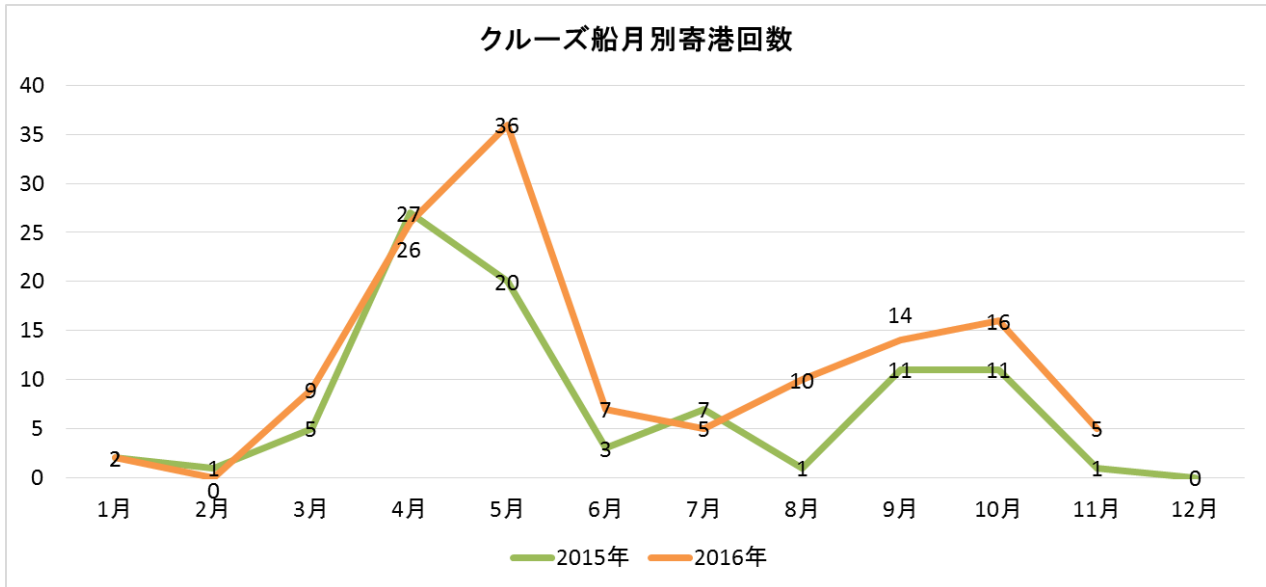




# 中国クルーズレポート 12月号

○2016年（平成28年）中国管内港湾におけるクルーズ船寄港回数（2016年11月までの速報値）

2016年11月までのクルーズ船寄港回数は、130回（前年同期比1.48倍）



中国管内港湾におけるクルーズ船の寄港回数

単位：回

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～11月合	1～12月合
		2015年	外国船社	2	1	3	26	18	0	3	1	8	5	0	0
	日本船社	0	0	2	1	2	3	4	0	3	6	1	0	15	22
	計	2	1	5	27	20	3	7	1	11	11	1	0	88	89
2016年	外国船社	1	0	5	25	30	6	1	9	9	7	0		93	
	日本船社	1	0	4	1	6	1	4	1	5	9	5		37	
	計	2	0	9	26	36	7	5	10	14	16	5		130	
前年同期比	外国船社	0.50	0.00	1.67	0.96	1.67	—	0.33	9.00	1.13	1.40	—		1.50	
	日本船社	—	—	2.00	1.00	3.00	0.33	1.00	—	1.67	1.50	5.00		2.47	
	計	1.00	0.00	1.80	0.96	1.80	2.33	0.71	10.00	1.27	1.45	5.00		1.48	

出典：港湾管理者（下関港を除く）からの聞き取りに基づき中国地方整備局で作成

各港における11月までの寄港回数（計：130回）

港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数
広島港	47	※浦郷漁港（隠岐郡西ノ島町）	3	福山港	1
境港	33	尾道糸崎港	2	※森野漁港（周防大島町）	1
宇野港	17	岩国港	2	三田尻中関港	1
※厳島港	11	※大社漁港（出雲市）	1	※仙崎港	1
※萩港	8	浜田港	1	水島港	1

※はクルーズ客船沖合停泊（乗客はテンドーボートで上陸）したものを含む。

寄港回数は平成28年12月1日現在の速報値であり、後日変更される場合があります。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室

室長 菅 高德 課長補佐 吉田 豊成

TEL：082-511-3928（直通）



## 11～12月のトピックス

### ○マイアミセミナーの開催

平成28年11月17日（木）、在マイアミ日本国総領事館公邸にて「明日の日本を支える観光ビジョン（平成28年3月30日）」が掲げるクルーズ船受入の更なる拡充を図るために青森港、金沢港、境港、北九州港、神戸港の5港が連携し、クルーズ船社6社、在米訪日旅行会社13社を対象としてセミナーを開催しました。（参加者約30名）

岡庭在マイアミ日本国総領事のオープニングスピーチで幕を開け、日本のクルーズセミナー（5港のプレゼン）では、ストーリー性のあるPRを格調高く実施することにより、日本を代表する参加5港がプレミアムな地域であるということ、米国市場に印象づけました。米国船社に日本市場への参入及びさらなる充実強化を働きかけ、米国における日本へのクルーズマーケットの開拓へとつなげました。



境港のプレゼンの様子



多くの米国船社等が参加



レセプション



境港をPR

### ○クルーズオブザイヤー2016 受賞

【特別賞】日韓5港湾都市連絡会（博多港、京都舞鶴港、金沢港、境港、釜山港）

業界でも初の試みとなる日本海周遊クルーズを支援するため、寄港地となる金沢港、京都舞鶴港、境港、博多港および韓国・釜山港の各港湾管理者や港湾所在都市により、平成27年10月に設立。広域的な連携を図り、各港の受入サービスを高いレベルで均一に提供したことや、日本海側の地方港という発着港として知名度の高くない港における集客、新たな市場を開拓するための各港独自のセミナーの開催など、様々な取り組みが高く評価されました。

また、日韓5港湾都市連絡会は来季2017年、32回行われる日本海発着クルーズの集客に協力しようと、コスタクルーズとの共催で「2017年日本海クルーズセミナー」を開催します。

セミナーは、大阪（1月7日）、名古屋（1月8日）、東京（1月9日）の3会場で行い、同クルーズの魅力伝える講演、コース紹介、クルーズや寄港地の特産品が当たる抽選会を実施します。

5港揃って登壇



境港管理組合 細羽事務局長（左から3人目）